

日本原子力学会標準委員会 リスク専門部会 レベル 2PRA 分科会

第 16 回会合議事要旨

日時:2016 年 8 月 1 日 (月) 13:30~17:30

場所:電力中央研究所大手町ビル第 4 会議室

出席者:

委員:阿部 (主査), 成宮 (副主査), 中村 (幹事), 石川, 小野田, 楠木, 佐藤, 豊嶋, 橋本, 濱崎, 松尾, 村松, 山本, 原口 (新任), 美原 (新任), 渡邊 (新任) 16 名出席

常時参加者:星, 林, 渡邊代理 (藤村), 前田 (新任), 長江 (新任), 野崎 (新任) 6 名出席

傍聴者:なし

配布資料:

P10SC16-0:第 16 回レベル 2PRA 分科会 議事次第

P10SC16-1:第 15 回レベル 2PRA 分科会 議事録

P10SC16-2:人事について

P10SC16-3:レベル 2PRA 標準 2016 の発行に向けた状況について

P10SC16-4-1:地震時レベル 2PRA 標準執筆の状況報告 (前半箇条)

P10SC16-4-2-1:地震時レベル 2PRA 標準執筆の状況報告 (後半箇条)

P10SC16-4-2-2:地震を起因とする格納容器機能喪失確率の評価方法

P10SC16-4-3:適用範囲検討サブ WG 技術課題

P10SC16-4-4:インターフェイス検討サブ WG 技術課題

P10SC16-4-5:フラジリティ検討サブ WG 技術課題

P10SC16-4-6:外的事象レベル 2PRA の標準化の検討の進め方

P10SC16-5:レベル 2PRA 標準改定に向けた主なスケジュール (第 16 回分科会時点)

議事（発言者敬称略）

議事に先立ち、委員 15 名中 13 名が出席しており、定足数を満たしていることが報告された。

（1） 前回議事要旨確認

幹事より、資料 P10SC16-1 に基づき、前回議事要旨（案）について説明があった。要旨案に対しコメントはなく、了承された。

（2） 人事案件

幹事より、資料 P10SC16-2 に基づき、人事案件について、委員の退任（松尾委員）、常時参加者の解除（井上、野田、渡邊）の報告及び新たに委員の承認（原口委員、美原委員、渡邊委員）、常時参加者の登録（長江、野崎、前田）について承認された。

（3） 誤記チェック結果の報告

幹事より、資料 P10SC16-3 に基づき、誤記チェック結果の報告があり、64 回標準委員会にてチェック内容に不備があるとして審議は差し戻しとなったが、リスク専門部会にて再度チェックを実施し、再度、標準委員会による審議が行われた結果、可決となった旨の報告があった。

また、今後のスケジュールについては懸念事項があり、転載許諾について学会事務局による転載許諾先への許諾依頼が進んでおらず未完了となっているため、分科会三役で依頼作業を促進するためサポートすることとした。

（4） 外的事象レベル 2PRA の方針について

幹事より、資料 P10SC16-4-6 に基づき、前回の状況説明があった。

それを受け、本日は執筆状況とサブ WG の検討状況の中間報告ということで、各作業状況を報告いただき、議論する流れとなった。

豊嶋委員より、資料 P10SC16-4-1 に基づき、地震時レベル 2PRA 標準執筆の状況報告（前半箇条）があった。

小野田委員より、資料 P10SC16-4-2-2 に基づき、地震を起因とする格納容器機能喪失確率の評価方法、また地震時レベル 2PRA 標準執筆の状況報告（後半箇条）が佐藤委員より資料 P10SC16-4-2-1 の箇条 9, 10, 小野田委員より資料 P10SC16-4-2-1 の箇条 15 についてあった。

橋本委員より、資料 P10SC16-4-3 に基づき、適用範囲検討サブ WG の検討状況の説明があった。

濱崎委員より、資料 P10SC16-4-4 に基づき、インターフェイス検討サブ WG の検討状況の説明があった。

楠木委員より、資料 P10SC16-4-5 に基づき、フラジリティ検討サブ WG の検討状況の説明があり、美原委員、橋本委員のコメントを踏まえ検討することとなった。

幹事より、2 週間程度のメールによるコメントを受け付けることとなった。

(5) 今後の予定

次回以降の分科会の予定は以下のとおりとなった。また、12 月のリスク専門部会で概ねの結論を報告するため、予備の分科会を設定することになった。

- ・第 17 回分科会 10 月 24 日 13:30～17:30
- ・第 18 回分科会 11 月 21 日 13:30～17:30 (予備)

以 上